

第3次「下水道技術五箇年計画」を策定 国土交通省



国土交通省が平成15年9月から財団法人下水道新技術推進機構内に設置していた「第3次下水道技術五箇年計画策定検討委員会」は、16年5月13日までに「第3次下水道技術五箇年計画」の策定を完了しました。

「下水道技術五箇年計画」は産官学の下水道技術研究者が技術開発課題についての認識を共有化し、効率的な技術研究開発ができるように策定されているものです。

今回の計画は15年にまとめた「国土交通省技術基本計画」の5つの目標「安全」、「環境(美しく持続可能な国土づくり)」、「生活コストの安い暮らし」、「活力ある社会」、「誰もが参加できる社会」を下水道技術開発においても主要課題として設定し、5年間という比較的短期間で具体的な研究開発目標を示したものです。

このうち「環境」に関しては(1)流域管理による健全な水循環・良好な水環境の創出、(2)流域の水質保全、(3)下水道資源管理、(4)都市再生への対応、(5)地球環境保全 - - の5つの中課題を設定し、それぞれの中課題について19の具体的な技術開発項目をあげて開発の方向性が示されています。

資料:2004年5月13日付 EIC ネット

生活環境箇所 重田 郁美

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第20条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

